

# 鯨城ニュース

第27号

平成26年11月発行



鯨城会ホームページアドレス <http://www.kojyokai.net/>

発行／名古屋市高年大学鯨城会  
編集／広報委員会

名古屋市高年大学鯨城学園

## 「設立 29 年目を迎えて」

名古屋市高年大学鯨城会会長 河合 世輝代

人口の高齢化にともない、急増する高齢者の生きがいがづくりと、地域活動の核となる人材育成を目的として設立された名古屋市高年大学鯨城学園は、四半世紀の歴史を積み重ねてきました。

この間に、平成 23 年度の名古屋市事業仕分けで廃止の評価を受け、その後鯨城会組織を上げて、鯨城会会員、学生会、在校生による請願署名等を集め、抜本的見直しを前提に存続が決まり、26 年度からは運営、内容等全てにわたって大きく変化しております。

その結果、今まで以上に学園での学びを地域社会に還元する事が求められており、個々の学びではなく、卒業後における地域（各区会）への貢献を通して社会貢献が求められています。

今年度より実施しています新しいプログラムは、学園サポーター（28 期生、29 期生）講師の派遣、子供虐待防止世界会議のボランティアの派遣や、ESD「継続可能な開発のための教育・福祉」世界ユネスコ会議への参加等、沢山の行事を区会の皆様方の協力とご支援を頂きながら地域社会の支え手となるよう活動して行きたいと思っております。

広報なごや 9 月号の一面に「高齢者の力で名古屋のまちをもっと元気に」というテーマで対談の様子が載りました。



↑左から河合世輝代さん、名古屋市老人会会長長尾昇さん、河村市長（千種区の都福祉会館にて）

### －目次－

表紙 八剱神社例大祭（やつるぎじんじゃれいたいさい）	
巻頭言 .....	1
新生鯨城学園：鯨城会 .....	2
鯨城学園の変革期と社会的活動の推進 .....	3
学園便り .....	4
各区鯨城会の頁 .....	5～20
平成 26 年度 鯨城会会員数一覧表 .....	21
平成 27 年度 鯨城会会長立候補届について .....	21
社会奉仕活動委員会だより .....	22
行事委員会だより .....	23
区会活動委員会だより .....	24
表紙説明／お詫び／訃報／編集後記 .....	25
第 5 回 鯨城 OB 文化祭（予告）	
2014 ユネスコ世界会議併設イベントに鯨城会出展	
第 31 回 公開講演会	

# 新生鯉城学園：鯉城会

名古屋市高年大学鯉城会会長 河合 世輝代

26年度運営のモットー「区会を中心に、魅力ある鯉城会に」の旗の下、平成26年度も早いもので半年が経過いたしました。各区会の皆様の絶大なるご協力により本年度計画いたしました行事も順調に進行しております。

さて、皆様もご承知の通り鯉城学園今年より大きく変化し、授業料・クラス数・学生数の見直しが行われ、学生数については568名から760名の増員となり、鯉城会からは専門講座の講師や学園サポーターを派遣させていただいております。

## 26年度の運営方針

### 1. 学園設立の趣旨を再確認し、卒業後は地域への積極的な活動を展開

4月30日（水）29期生対象に、卒業後における鯉城会との関わり方をパワーポイントを使い、鯉城会概要の説明を行いました。午後からの16学区の地域ミーティングには、会長、副会長および、地域活動指導委員が全学区の説明に廻り、これから2年間一緒に学び、同じ区に住む仲間としてコミュニケーションを図り、区鯉城会の活動を知っていただく事の目的と協力をお願いいたしました。

7月22日～7月25日（4日間）28期生を対象に地域ミーティングを開催。夏真っ盛りの中（平均気温35度）各区会の役委員の皆様も汗だくで受け入れを行いました。私達役員4人も各区会にお邪魔をして鯉城会入会、地域の核となる人材教育を要請いたしました。

### 2. ESD ユネスコ世界会議 併設イベントブース出展について

「ESDとは Education（教育）Sustainable（持続）Development（発展）持続可能な開発のための教育」

私達鯉城会は、このESDに参加するため名古屋市役所に出向き、担当者や市議員の方々に働き掛けをし、8月末日に決定の通知をいただき、直ちに臨時代議委員会を開催し、代議員の方々の賛同を得てボランティア活動のパネル展示やおもちゃ病院の開設等で、鯉城会や多くの市民の人達に知っていただく絶好のチャンスである事や今後の鯉城会発展に役立つ事と思えます。

ア、実施期間 平成26年11月8日（土）～9日（日）

イ、場 所 久屋大通公園（もちの木広場、久屋公園）

### 3. 子ども虐待防止世界会議名古屋 2014 ボランティア参加

9月14日（日）～17日（水）「子ども中心の社会に向けて：過去から学び、未来に向けて行動しよう」をメインテーマに、虐待防止の国際学会と日本学会の合同大会として日本で初めての開催

この会議には世界70ヶ国から参加。

会場運営のサポートのボランティアを鯉城会、区会長、幹事が参加。

この様に今年は、名古屋に於いて世界会議が開催され、私達鯉城会は積極的に参加しながら、各区会の皆様とともに活動を進めてまいります。

# 鯨城学園の変革期と社会的活動の推進

社会福祉法人名古屋市社会福祉協議会会長 河内 尚 明

鯨城会の皆様には、日頃から鯨城学園にご理解とご支援をいただき、深く感謝申し上げます。また、時折掲載される新聞記事を拝読させていただくたびに、様々な場面でのご活躍を嬉しく思っています。

さて、先の行政評価の結果を受けて、「定員の拡充」「授業料等の増額」「地域活動学習講座の創設」「講師の外部化」といった大きな変革期を迎えた学園ですが、新たな体制のもと、第29期の新入生を無事迎え入れることができました。



2学期となる現在は、1学期に引き続き、名古屋市立大学、日本福祉大学、鯨城会のご協力をいただいで運営する「名古屋市高年大学鯨城学園カリキュラム編成委員会」において編成されたカリキュラムに基いて、両大学ならびに鯨城会の協力を得た学園の卒業生の講師など、多彩な外部講師の方による講座が展開されているところです。

新体制の1年生、旧体制の2年生が混在するとともに、職員体制の変更といった要因も加わって、一定の混乱が生じるのではないかと懸念を抱いておりました。とくに、授業時間帯の変更や募集定員の増加に伴う鯨城ホールの運営、卒業生の皆様への教室貸し出しの減少など、2年生や卒業生の皆様には、こうした運用面の変更で、ご迷惑をおかけすることとなりましたが、寛大な心持ちで受け入れてくださり、今のところ大きなトラブルもなく、概ね順調に運営することができています。

鯨城会の皆様の学園存続に注いでいただいた熱意が、在学生にも伝播して、こうした安定を少なからずもたらしてくれたものと、改めて感謝申し上げます。

学園運営の理念である「学びの循環社会の実現」や基本方針の「仲間づくりの機会の重視」を念頭に、交友関係の維持・継続が、生きがいや社会的活動への参加・継続の動機づけになるとの認識のもと、「地域活動学習講座」の充実を図っています。鯨城ホールにて、学年が一斉に受講する形態とし、1年次に社会的課題等を中心に学び、2年次に活動者の実践を学びながら、知識の習得と社会的活動への意欲向上を目指しています。

また、学生会の動きとして、5つ目の委員会「社会参加委員会」が正式に発足しました。同委員会は4班で構成され、班ごとに学園ボランティアセンターの運営や新たなボランティア活動の企画などを担っています。

こうした社会参加の気運が高まる中で、同委員会に所属する園芸専攻の2年生が中心となって、市内11カ所の児童養護施設・乳児院に、実習で育てた「玉ねぎ」約460個（重さにして約120kg）を学生が配達して寄付するという、社会的活動の実践がありました。

これは、施設から届いたお礼状を要約したものです。施設で暮らす子ども達の背景に想いを巡らせると、子ども達と学生との「玉ねぎ」を介した、世代・言葉を越えた心の通い合いを感じて胸が熱くなりました。こうした活動が、子ども達の健やかに成長に寄与するのであれば、こんなに素晴らしいことはないでしょう。

この度は、名古屋市社会福祉協議会を通じ、子ども達のために玉ねぎを寄付いただき誠にありがとうございます。当施設には、幼児から大学生の子どもが50名程度生活しています。

調理前、泥のついた状態の玉ねぎを仕分けしている時に、小さい子供が集まってきて、何だろう？と不思議そうに眺めていました。皮を剥くと「玉ねぎだ！」と笑顔になり、野菜がどのように育つのかを知る良い食育の機会にもなりました。

子ども達が、たくさん玉ねぎが届いたことに喜ぶ姿を見ていて、皆様からご支援をいただくことで、子ども達は心豊かに成長し、生活も豊かなものとなるのだと感謝しております。

学園の変革期を迎え、カリキュラムの編成や内容などを工夫している中で、こうした活動の実践は嬉しいニュースでした。学園としては、多様な実践事例や社会的・福祉的なニーズといった情報を学生に提供することで、活動の場やきっかけづくりを支援しています。鯨城会の皆様の活動や現場で把握している生のニーズなどは、在学生への刺激になると思いますので、後輩の育成のために、ぜひ学園に情報をお寄せいただき、学園運営へのより一層のご協力とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

# 新任のご挨拶

名古屋市高年大学鯉城学園 副学長 百合草 信 夫

鯉城会の皆さまには、日頃より学園にご理解と温かいご支援を賜り、感謝申し上げます。

本年度から、学園体制が大きく変化する中で半年が経過しました。本年度を迎えるにあたり様々な方向から検討を重ねてきましたが、実際に動き出してみると細かなところで改善が必要な事があり、その都度改善して2学期がスタートしたところです。鯉城会の皆様には、平成22年度から図書ボランティア、平成24年度から地域ミーティング、更に本年度から講座運営のための学園サポーター並びに講座講師をお願い申し上げ、学園をお支えいただいておりますことに深く感謝申し上げます。



ご逝去された喜多島副学長は、「鯉城会の皆様、学生の皆様、学園のスタッフが協力して学園をつくりあげていくことが必要」と常に話されてきました。職員一同、前副学長の意思を継ぎ、在学生が豊かな学生生活を過ごすことができますよう頑張っておりまますのでよろしくお願い申し上げます。鯉城会の皆様には、学園を更に充実させるため貴重なご意見をいただければ幸いです。今後とも、絶大なるご支援をいただきますようお願い申し上げます。

## 地域ミーティング開催のお礼

名古屋市高年大学鯉城学園 地域活動指導員 鈴木 雅彦

鯉城会会員の皆様には、日ごろから学園運営に学園サポーターや図書ボランティアとして、ご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

さて、1年生（29期生）対象の地域ミーティングは、4月30日に開催し、各鯉城会ごとに教室に分かれて、自己紹介や区鯉城会の概要説明などを行っていただきました。

また、2年生（28期生）対象の第3回地域ミーティングは、7月22日から25日までの夏休み期間中に、区鯉城会の皆様のご協力をいただき、体験型の地域ミーティングを実施することができました。誠にありがとうございました。

今回の地域ミーティングでは、区鯉城会や区社会福祉協議会の説明だけでなく、高齢者の疑似体験や車いす体験、認知症サポーター研修、デイサービスでの活動体験、公園の清掃活動体験など、各区鯉城会でいろいろ検討された内容で実施されております。

私も何区か訪問させていただきましたが、区鯉城会の会長さんはじめ、担当の方々が一生懸命お手伝いをされてみえました。公園清掃など、外で体験活動をされた区鯉城会の方々には、大変暑い中、本当にお疲れ様でございました。皆様方の一生懸命な気持ちが、参加された28期生にきっと伝わったことと思います。

鯉城会・区鯉城会の皆様の思い、気持ちは、28期生の来年度の区鯉城会への入会率のアップにつながることを祈念しております。

## 訃報

去る9月6日、喜多島副学長が急逝されました。享年66歳でした。前日まで普段と変わらずお元気に過ごされていたことを思うと、あまりにも突然のことでしたので、いまだに信じられない気持ちがいります。ご本人もこれからの学園運営について様々な考えをお持ちであったことを思うと、誠に残念でなりません。多くの学生・卒業生の方々に慕われ、気軽にお声をかけていた姿が今も目に浮かびます。残された職員一同、より良い学園運営を目指して努力してまいり存存ですので、鯉城会の皆様方におかれましても今後とも変わらぬご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



## 「在宅サービスセンター」でのボランティア活動

—千種区— 花水木鯨城会

花水木鯨城会副会長・社会奉仕 大 畠 啓 三

鯨城会のみなさんこんにちは。

今日は花水木鯨城会（千種区鯨城会を私たちはこのように呼んでいます）の社会奉仕活動の一端を紹介させていただきます。

日常的に行っているのは「千種区社会福祉協議会在宅サービスセンター」におけるデイサービスでのボランティア活動です。祝日もふくめて月曜日から金曜日まで午前9時半から11時半までが活動時間です。この活動には現在18期から27期までの方々のうちの約60名前後の方にご協力いただいています。

朝9時過ぎにサービスセンターへ通所される方が送迎用のマイクロバスで到着されます。

この方々にお茶を差し上げることから私たちの活動が始まります。サービスセンターのスタッフの人達が、通所された方の血圧を測ったり、健康状態のチェックなど、忙しくされるあい間をぬっての活動です。しばらくして入浴されますと、次の活動は入浴された方に冷たいむぎ茶を差し上げ、濡れた髪の毛をドライヤーで乾かすことです。ボランティアの男性の方は女性の髪にさわるのは初めてという人も多く、最初はドキドキです。

通所される方は支援や介護が必要な方々なので、当然車イスや歩行用の杖を使用されています。室内を移動される時などはスタッフの方に合図して、私たちは直接触れないようにしています。入浴が終わるのが11時半頃になります。

その間、すでに述べたこと以外に、通所される方の話相手になったり、数字合わせセット・計算シートや塗り絵のシートの用意、カラオケの曲の操作などいろいろあります。



また月2回ほど午後、1階の研修室をお借りして「コーヒーサロン」を開き、通所される方、介護士や社会福祉協議会に来られるボランティアの方に、おいしいコーヒーを味わってもらっていただいています。こちらはデイサービスのボランティアとは別に約15名の方がボランティアとして参加されています。（写真はコーヒーサロンの風景です）

この在宅サービスセンターでのボランティアの他に、千種児童館での各種の催し物にも定期的にボランティアとして数名が参加しています。こちらでは、いろいろな科学的な工作や、かき氷づくり、焼き芋づくりの手伝いなど多種多様です。また各地域会（花水木の会員は千種区を7つの中学校区で分けた地域会に属して活動しています）ごとにも独自のボランティア活動をされています。ここに紹介した以外にも個人的に活動されている方も多くあります。今日はそのごく一部を紹介させていただきます。

（26期・地域）



## 東区総合防災訓練に参加して

—東区— 東鯉城会

東鯉城会会長 藤 井 幸 男

東鯉城会の参加者は社会福祉協議会運営のボランティアセンターで受付け葵小学校隣の公園で「非常炊出し訓練」に参加した。

一度に 200 人食分が炊ける釜でマキの燃料でわずかに 15 分程度で炊き上がった、それをワカメのまぜご飯にし一食分ずつ容器に詰め込む作業を地域のボランティアと一緒に手伝った。また葵小学校の校庭では児童がバケツリレーで的当て消火活動を、講堂では、家具転倒防止、ガラス飛散防止等の実技があり見学した。



2014 年 3 月に名古屋市の区別の被害想定が発表され M9 での最大死者数は港区 2,200 人、南区 1,400 人、中川区 1,300 人と比べて東区は 30 人の予測でまた伊勢湾台風でもほとんど被害が無かった区のため防災意識が低い、ただし、想定外の災害が各地で発生しており、また被害の大きな他の区の支援を行うぐらいの意気込みで対策を立てよう。

### なごやかハウス出来町（特養）でのボランティア活動

26 年度 32 名の会員が特養に登録して喫茶サービス（毎月第二、第四火曜日）コーヒー、紅茶等の接待、清掃サービス（毎月第一、第三火曜日・第二、第四水曜日）廊下、階段の清掃などでボランティア活動を行なっている。

なお、13 期高木さん、16 期岩佐さん、18 期千草さんは 10 年以上も健康にご留意され活動に励んでおられます。（26 期・福祉）





## 今年度の活動について

—北区— 北鯨城会

北鯨城会会長 水谷元雄

北区には市民の憩いの場、名城公園があります。北鯨城会の活動の場も行事、ボランティア等この公園が中心となることが多くあります。毎年4月の初旬には行事委員の皆さんがお花見「観桜会」を企画し、新入会の皆さんも参加していただき会員総数275名の内6割を超える160名余りの参加で、今年度も満開の桜の下での花見弁当を頂きながら懇親会を兼ね開催しました。

今年に入り公園の前に愛知学院大学がオープンし周辺一帯が華やかに一変しました。社会奉仕活動委員会を中心に名城公園北鯨城愛護会の清掃ボランティア（毎月2回）、ガーデニング・同好会の花壇の管理、クラブ活動では、グラウンド・ゴルフで楽しんでいます。今年度の28期生の地域ミーティングも真夏の中、ごみ袋、お茶、軍手、竹ぼうきを持って、地域の体験学習と云う事で清掃に参加していただき一緒に汗を流しました。

当会は、総務、広報、行事、広報の委員会で構成され活動しています。友愛の心と健康維持を主体に地域活動に寄与するところを目指しています。夏季の見学会、秋季の研修旅行、そして作品展を通して交流、親睦に心がけ、また、区社会福祉協議会、町づくり推進室部門のボランティア団体と連携し「北区区民まつり」等、福祉部門にも出来るだけ協力していきたいと思っています。

3月には、「名古屋ウィメンズマラソン」も開催される予定でボランティアの一貫として係わりたいと考えています。地域のきずなを大切にとの思いで、幹事会終了後の報告を兼ね数年前からミニ集会（モーニングを兼ねて）が各ブロックで行われるようになり、毎回100名弱の方が参加、成果を上げていますがマンネリ化を避けながら続けていきたい。広報誌「北鯨城会だより」を通して情報の充実を計っていかれたらと思っています。

各行事やボランティアに一人でも多く参加していただくためには、健康管理には充分注意して、明るく、楽しく、元気であることが大切だと感じています。

(24期・生活A)



地域ミーティング 体験学習



名城公園 あさがお塔



観桜会会場





—西区— 西こじょう会

## 第3回地域ミーティング

西こじょう会 総務委員長 陸川 親一

4月、小岩会長のもと「生きがいと 地域をつなぐ 西こじょう会」をスローガンに、諸先輩の築いた伝統を守りながら、新しい課題に取り組んでいく「新しい一年」がスタートしました。

7月24日、28期生を対象に第3回地域ミーティングを開催。西区社会福祉協議会、西区ボランティア連絡協議会会員の5団体様の協力のもと、昨年度に引き続き体験活動を行いました。

活動は「手話」「音訳」「アイマスク」「車いす」「おもちゃ病院」の5コースで、日頃から各ボランティア活動に取り組む団体の方からの説明、指導のもと、体験を行いました。参加者は、未経験の方がほとんどでしたが、どなたも真剣に取り組まれている姿が印象的でした。この活動を通してボランティア活動の意義や必要性を強く感じていただけたと思います。

終了後のアンケート結果では、「参加して非常に良かった」「地域福祉活動の重要性、そして区鯉城会のボランティア活動を理解できた」等の多数の回答をいただきました。

西こじょう会として、この成果を今後の活動の前進に繋げて参ります。 (27期・福祉)



車椅子



手話



音訳



# 中村鯨城会の活動

—中村区— 中村鯨城会

中村鯨城会会長 杉 浦 弘

写真1は名古屋駅西のビックカメラの道路を隔てて新幹線側の歩道に建てられた中村鯨城会が清掃をしていることを示す立て看板、写真2は清掃状況の写真です。この他、清掃は中村生涯学習センターの道路の清掃もしていますが、古い期の方で大変お年寄りの方が参加され頭が下がる思いです。この方が今の中村鯨城会の活動の基盤を作られた方と私は思っています。

中村鯨城会は平成元年に創設され、見学会や史跡巡りなどの行事を中心に会の活動が始まったと思います。「中村鯨城会だより」の創刊は平成7年であり、この時の活動は、見学会・史跡巡り・研究発表・新年会・総会です。この時に同好会としては「軽体操クラブ」(ストレッチ・リズム体操など)が発足しました。平成13年に地域活動として介護支援と学習センター横の道路清掃が加わり、平成17年には駅西の清掃のほかに「区民まつり」、「作品展」が加わりました。平成20年には地域活動が「地域活動」と「ボランティア部」に別れ、平成21年に他区鯨城会では見られない「地域活動委員会」と「福祉活動委員会」の組織形態になりました。この時、福祉委員会は1グループが十数名での4グループ編成にして介護支援・児童支援体制にしたと思っています。途中平成16年にはグラウンドゴルフなど同好会も整備され平成21年に現在の活動の組織形態(総務・会計・広報・行事・地域活動・福祉活動の各委員会組織)が出来上がりました。

表1は縦軸が人数、横軸が期を示しており4~8月までの行事への参加状況(同好会活動は未カウント)です。現在、委員会活動の役員は26期が中心であり26期の参加が多いのは当然とは言えますが、問題は24期以前の方の行事への参加が乏しいことです。

このままでは私も幽霊会員になりかねません。現状の進め方の何処かに改善すべきことがあると思っています。まず感じることは行事に参加して話相手がいなかったら、参加しようとする気分にはならないように思います。魅力ある行事にするか、同期会とか学区会など話相手を作ることを積極的に進めるか、改善を図る必要を感じています。

現在、どんな鯨城会にしたいかのアンケートを会員へ調査していますが、先輩方が苦勞して創られた組織を活かすために、行事などの改善を会員みんなが進められればと思っています。(25期・園芸)

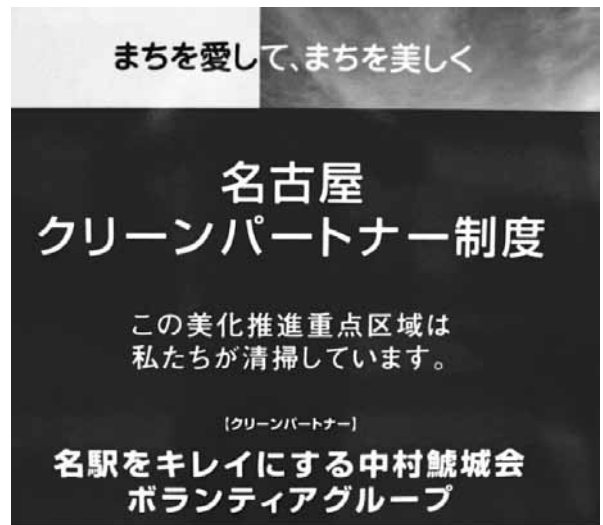


写真1 駅西の立て看板



写真2 駅西での清掃風景

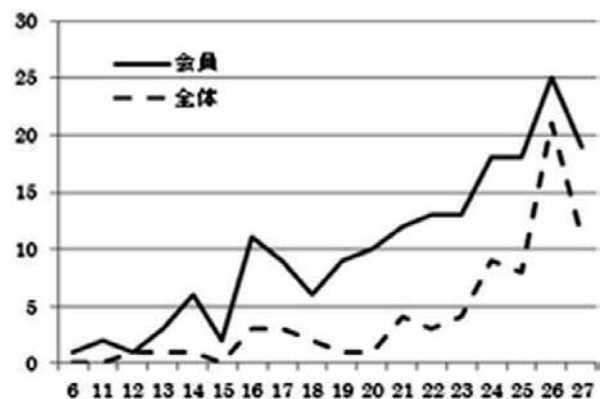


表1 期に対する行事への参加状況

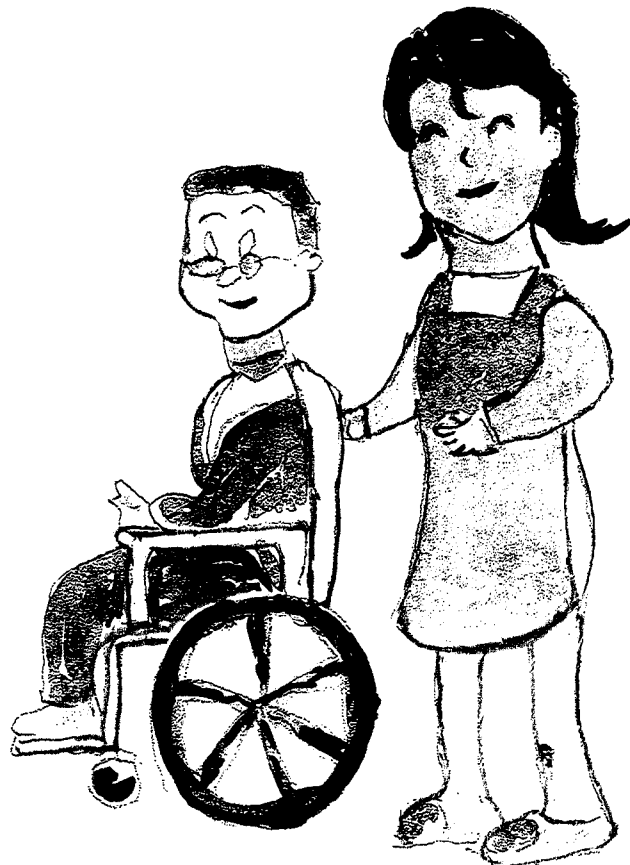
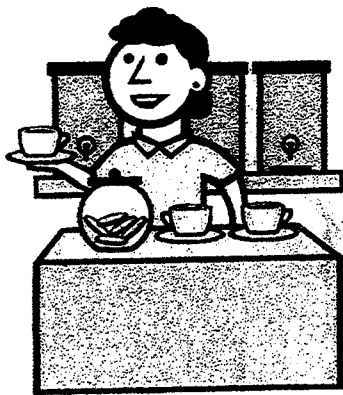


## 中鯨城会の誇り「つくもの喫茶サービス」

—中区— 中鯨城会

中鯨城会会長 山田晴久

28期生対象の地域ミーティングが7月24日木曜日に今回は、特別養護老人ホーム「ユートピアつくも」にて行われました。中鯨城会最大のボランティア活動の1つで「つくもの喫茶サービス」です。私も中鯨城会に入会した時「つくもの喫茶サービス」とよく聴かされましたが、一体なんであるか全く分かりませんでした。この事に付いてはあとで詳しく説明します。当日は大変暑く、中区在校生18名中12名の生徒が参加されました。又、喜多島、加藤両先生も参加され、始めに「つくも」の代表世話役の22期生樋口順一さんが「つくも」のボランティアが始まった目的、歴史等を詳しく説明され、喫茶サービスの実習に移りました。中にはもう既にボランティア活動を経験されている生徒もおられ、生徒は先輩の指導を受け、慣れない手つきで、車椅子での送り迎え、コーヒーやアイスクリームの提供、中にはうまく食べる事の出来ない老人の世話、それでも1時間余り一生懸命ボランティア活動を行った。皆さん満足そうな笑顔の地域ミーティングでした。「つくも」のボランティアは中鯨城会設立と同時に企画が始まり、2年目から活動を開始し23年を迎えます。当初会員は全員がつくもの活動に参画し、月例の委員会もつくもの会議室で開催されることが15年ほど続きました。従って“中鯨城会=つくも”と、一心同体で中鯨城会がつくもの活動ではあるが、つくもの活動が中鯨城会を育てたともいえます。中鯨城会は純粋にボランティア活動を永きに継続し、この功績を認められ、県知事賞・名古屋市長賞など4回表彰されました。ボランティアの内容は、特別養護老人ホームの2、3階に入居されている方々を、車椅子で、1階食堂までの送迎と、コーヒーやアイスクリームを提供することです。相手はお年寄りの為、大変気も使いますが、馴れば難しい作業は無く、誰にでも行える作業です。毎週月曜日と木曜日（祝日は休み）作業時間は、13時から15時頃終わります。ただ1日最低限必要人数が8名が揃わないと円滑な運営ができません。何回かピンチもありましたが、関係者の努力により頑張っています。28期生の皆さん大いに期待しております。先輩さん達が築いた中鯨城会の誇り「つくもの喫茶サービス」を何時までも続く事願うしだいです。 (26期・環境)





## 地域ミーティングを終えて

—昭和区— 昭和鯨城会

昭和鯨城会副会長 藤 田 保 志

昭和鯨城会の 28 期生 第 3 回地域ミーティングは、7 月 23 日（水）に昭和消防署講堂を会場に、鯨城学園の森学務主任と昭和社会福祉協議会の加藤主査の挨拶のあと、昭和消防署員の方々の協力のもと ①心肺蘇生法 ②AED の使い方 をご指導いただきました。

その後、2 班に分かれて、代る代る蘇生法を実地に体験をしました。初めての体験の方も多くみられ、少々ぎこちないスタートでしたが、だんだん落ち着いて、スムーズに進んでいたようです。

AED（心臓に電気ショックを与え、蘇生させる自動体外式除細動器）は一般市民に”解禁”されて 10 年となる。設置台数は全国で 30 万台を超え企業や学校、公共施設などで見かけるようになった。ただ、使い方を知らなかったり、ためらったりする人が多く、活用事例が少ないと言われている。

今回昭和区の地域ミーティングで心肺蘇生法と AED の使い方を選んだ理由は、今年度になって NHK や他の報道機関等で、シリーズで放送された特集が組まれたこともあり、個々人が必要な場面に遭遇した時には、ためらうことなく勇気を出して、お手伝い出来る鯨城会会員をめざしてほしいからです。



地域ミーティング受付



心肺蘇生法の体験

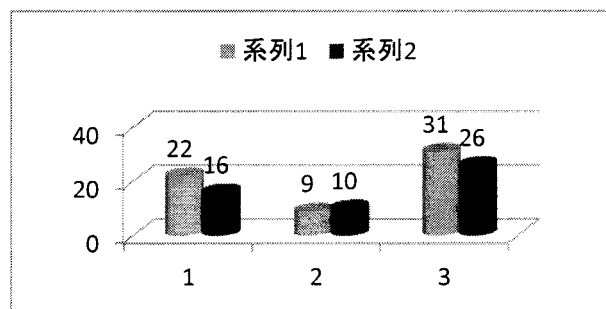
心肺蘇生法と AED の使い方を学んだ後は、消防署の 1 階車庫に移動し、駐車待機している様々な消防車両について、丁寧な説明を聞き、感慨深い半日のミーティングを終えました。

しかし、今年般の 28 期生の参加率が 50% と非常に寂しい結果でした。学園授業の一環として実施したのになぜか？夏休みになってからの実施日に疑問を感じたのは私一人でしょうか。

卒業後の地区鯨城会への入会率も下がっていると聞きます。魅力と生きがいを見つけられる会の運営が入会率の向上につながることに信じています。下図は昭和鯨城会の最近の入会率です。

<最近の昭和鯨城会への入会率>

	26 期生	27 期生
入会数	22	16
未入会数	9	10
卒業生	31	26
入会率	71.0%	61.5%



今後も楽しい魅力ある地区鯨城会づくりを会員の皆様と共に努力してまいります。（26 期・福祉）



# ESD へ私の思いと活動

—瑞穂区— 瑞穂鯨城会

瑞穂鯨城会 鯨城会幹事 酒井清夫

本年度の活動主体を何にするか検討が始まった時、ESD への参画を提案しました。その背景として、卒業生の皆様が4半世紀に亘り ①社会奉仕活動 ②公開講演会 ③美化活動 ④地域福祉活動(区社協事業への協力、施設ボランティア) ⑤緑化運動(市内公園での花壇作り、清掃・除草)など、毎年功績を残して来られましたが評価はなんと仕訳対象に!!——鯨城会が行政・市民・地域住民と噛み合っていないと思いました。

今後誰に何を目的にするのか!⇒私は以前からESDが「持続可能な地域づくりの担い手」を育てる大きな視点で展開している考え方に共鳴し活動参加して来ました。従って鯨城会も若者・弱者・市民をも巻き込んで理解得られる方向が良いのではと思ったからです。早速臨時役員会が招集され私の所属する中部ESD拠点推進会議の牧宏先生に講義して貰い、その場で採択され11月予定のユネスコ世界会議に参加申し入れする事になりました。

**ESDは環境や貧困・人権・平和等を自らの課題として捉え、解決に向けて身近な事から取り組む学習や活動すること(人)です!**



5月11日 「ESD ユネスコ世界会議半年前イベント」より

## 鯨城会がより地域社会や市民に信頼される為の提言や事例紹介

- ① 学園の文化祭を地域仕様にアレンジ……学校や地域イベントに参加し学童、PTA も。
- ② 共演して先方を巻き込もう……有松の街並み展示物など街づくり推進室に教材提供し共に街づくりに取り組む
- ③ 環境大学の学びを基に文化祭テーマに取り上げた影響で(自賛?)、今年の講座に「伝統野菜を食べて長寿」が設けられました……一般市民や野菜好きな皆さん向けに!!
- ④ 未来を背負う児童・生徒に私達の社会経験が役立ちます。率先垂範して見守り育てましょう!!

(27期・園芸)

出前授業の様子です(牧先生の三環の会メンバーとして)

ESD なごや環境大学共育講座「多摩市に学ぶ」

熱田区・野立小  
「自然観察」



大宝小





# 地域と皆さんと一緒にクリーンキャンペーン！

—熱田区— 熱田鯨城会

熱田鯨城会副会長 伊藤 正人



学区会長、区長、区役所の皆さん

熱田鯨城会も、いろんな、ボランティア活動を行っています。

6月7日は「クリーンキャンペーン」の日でした。

今まで、鯨城会単独で行っていましたが、6月10日、大宝学区のクリーンキャンペーンに合同で、地域の皆さんと一緒に行いました。

熱田区長、まちづくり室長、保健所課長、環境事業所所長及び係長、土木課長、等の出席で鯨城会23名を含め、平日にもかかわらず、総勢80名の人達と、日比野交差点のある、大宝学区周辺のゴミ拾いを行いました。

皆気持ちの良い汗をかきました。

(25期・地域)



このような地域の行事に熱田鯨城会は、鯨城会の行事の一環として参加します。

(25期・地域)



一生懸命 ゴミ拾い



役所の皆さん



# 中川鯨城会活動報告

—中川区— 中川鯨城会

中川鯨城会広報委員長 荒町俊彦

当鯨城会の基本的な運営方針の一つとして「会員の意見、提案を反映した活動を推進し、参加意欲を高め、本会の活性化を推進する」を掲げています。そのための施策として、行事、クラブ、ボランティア活動等に重点をおき、生きがいや、仲間づくりを通じて会員の皆様との絆を深めております。

現在の会員数は250名を超えた大きな母体となっています。来年以降も多くの仲間の参加が見込まれています。全会員がより気楽に、生きがいを持って参加できるように、そして地域の皆様に今以上に評価されるよう努めて参りたいと考えております。

以下に現在の活動状況のあらましについて報告いたします。

## ◆役員会

- ・偶数月の第三土曜日 10時から開催。
- ・中川図書館会議室、又は中川社会福祉協議会研修室にて。

## ◆区会誌

- ・偶数月に発行（6回／年）
- ・発行前に編集会議を二回開催し、楽しく為になる原稿を掲載目標としている。

## ◆社会見学

- ・奇数月に会員対象の行事を開催（5回／年）
- ・行事委員会を開催し行事開催前に現地の下見を行い、交通手段や安全等を確認している。

## ◆ボランティア

- ・毎月第三火曜日が基本、10時から指定地域の環境美化・清掃違反広告物除去活動を実施。（11回／年、除く8月）
- ・各老人保健施設への将棋・囲碁とお話し相手、手芸、書道の指導、マジックの訪問活動。
- ・名古屋市、鯨城会主催の行事、及び社会福祉協議会や図書館ボランティア活動への参加。

## ◆グラウンドゴルフクラブ

- ・毎月第二火曜日、9時から高畑公園で地域の方を交えポイント制で競技。
- ・鯨城会や他の競技会への交換会にも積極的に参加し、プレーを楽しんでいる。

## ◆気功クラブ

- ・毎月第二・第三水曜日が基本、13時30分から富田地区会館にて開催。
- ・経験的な個人差があり、其々に見合った内容で健康づくりを楽しんでいる。

## ◆カラオケクラブ

- ・毎月第一・第四月曜日、13時30分から昭和橋シダックス店で開催。法人会員を取得している。
- ・カラオケ健康効果により、皆さんが楽しく和気藹々と楽しんでいる。

## ◆雑学クラブ

- ・毎月第二土曜日、13時から社会福祉協議会研修室で開催。
- ・皆様の楽しみ・集いの場を提供し、昔を思い出し又新しいことに興味を持っていただく。

## ◆手芸クラブ

- ・毎月第一月曜日・第三木曜日が基本、9時30分から社会福祉協議会ボランティアルームで開催。
- ・友達作りと、和を大切にお喋りを楽しむ気楽な会、毛糸編み人形、毛糸のエコたわしも作っています。（26期・文化B）



戸田川をきれいにし隊



中川区区民まつり



中国茶



毛糸編み物人形



# 港鯨城会 ボランティア活動報告

—港区— 港鯨城会

港鯨城会会長 高橋 喜久男

## とだがわこどもランドスポーツ大会に参加して

過ぎる8月30日(土)と8月31日(日)の二日間に渡って、とだがわこどもランド体育館で幼児・児童のスポーツに親しむ機会により、運動機能の向上を目的として実施されました。昨年までですと、他のボランティア団体の人達も参加していましたが、今年度は港鯨城会だけとなり、かなり責任ある立場で、二日間の午前、午後で合計40名以上の会員が参加致しました。二日間で、延べ800名程度の来場者があり、日頃の運動不足がちの高齢者である我々も汗びっしょりかいて、子供さん達と親しく、楽しくスポーツに熱中しました。

①カローリング、②PK、③ストラックアウト、④フリスビーの4種目スポーツに挑戦して各種目毎に得点を設け、20点以上の得点者には金メダル、16点以上で銀メダルが貰える仕組みで、乳幼児、小学生以上でスタートラインが区分されており、親子供さん一体となって、楽しく元気いっぱいに集中してやっている姿は、本当に家族愛溢れる微笑ましい光景でした。(26期・文化A)







## “楽しい南鯨城会へと発展を”

—南区— 南鯨城会(こなみ会)

南鯨城会 Dブロック長 大塚 寿 征

「鯨城会は魅力がない、イメージが暗い」(前期卒業で3月退会のクラブ代表の意見)を又、他の方の意見は「学園は楽しかったが鯨城会は楽しくない」などを直接聞き、入会して直ぐに複雑な気持ちを味合う。しかし入会したので、私なりに少しでも“魅力”の一端を見つけ行動をしたいとの思いから、大きな南鯨城会(200名)縦の会でなく、小さな26期横のOB会を立ち上げ。同じ地域でクラス、クラブを卒業したが、顔も名前も知れず通り過ぎている。“同じ地域で一人でも多くの友達作りをモットーに音楽、美術、演劇、旅行等と食事会をセットしての思い出作りで楽しい一日を”を目指し20名で9月に船出。10月、催事計画についての会員(入会金・年会費なし、OB全員が会員)に希望などのアンケート全員提出願う。内容例①催事開催時期 ②ダブりの少ない曜日 ③1回の催事出費予算 ④希望する催事 ⑤食べたい昼食は 等々を確認しできるだけ希望に答える。4名の催事担当の方は(1催事2名)これらの意見を基に計画を検討提案。

### 12月よりスタート

- 12月 6日 宗次ホール 日本歌曲とイタリア・オペラ コンサート 志摩にて昼食
- 2月 21日 古川美術館 美術鑑賞会(麗しの日本) 富士山作品ギャラリートーク
- 4月 14日 桑名で竹の子掘り 12名で120本掘る。初体験で喜び最高
- 6月 23日 八事興正寺散策 ガイド案内で境内散策・抹茶飲茶・僧侶法話・神戸屋昼食
- 8月 8日 上高地バス旅行 さわやか上高地・大正池〜かっぱ橋を1.5時間遊歩

この様に2ヶ月に1回偶数月に開催。お蔭様で5回開催の参加者は、全て50%以上の参加率で、担当幹事のご苦勞の結果と感謝しています。これからも魅力ある満足して頂ける企画を考え、みなさんが楽しい一時を共有し、ミニ集団の行動が南鯨城会全体にインパクトをもたらし、少しでも“魅力ある会”に近づきたい思いです。

一人でも多く入会され、一人でも退会者が減り永くお付き合い出来ます様に。  
人生はゆっくり走るマラソン、健康第一でマイペースで進もう。

(26期・文化B)



桑名で楽しい竹の子掘り 4月14日



—守山区— 守山鯨城会

## 駅前ロータリーの花壇管理

守山鯨城会会長 江 端 寛

守山区の玄関口を飾る小幡駅前の花壇をなんとか存続させたいと守山土木事務所の意向から、私共守山鯨城会が毎月、駅前中心に瀬戸街道（東西）と竜泉寺街道の町美化活動に取り組んできたことにより、依頼があったものです。花苗の植え替えは年2回、その1回目が7月8日（火）午前9時よりポチュラカ（40）、キバナコスモス（250）、マリーゴールド（120）、マツバボタン（120）、ペゴニア（100）、合計630株の花の苗を参加42名、猛暑の中での作業とまりましたが10時30分には無事終了することができました。

夏植えの花はここからが大変、花への水遣り、花から摘み、花壇周辺の清掃等毎週月、水、金の三日間9月の初旬まで地域別の当番制で管理をおこないます。

最近では通勤、通学、一般を含め大勢の皆さんから暑いのに大変ですね、ご苦労様ですね、等声をかけてくれる人が多くなりました。これからも地域の皆さんに親しまれる守山鯨城会を目指し明るく、楽しく、元気よくやっ行って行こうと思っています。



(25期・園芸)

## 親睦バス旅行

守山鯨城会行事委員長 三 浦 勉

守山鯨城会は会員相互の交流・親睦を深めるため毎年春に日帰りバス旅行を開催しております。今年の行き先は京都でした。ほとんどの方が京都は行ったことがある状況でしたが、今年のテーマは「京都の庭園文化を凝集する名園の旅」とし5月19日に出掛けました。



総勢40名の参加となり、大型バス1台で午前8時予定通り出発しました。

途中休憩をはさみ最初の訪問地東本願寺内の渉成園を訪れ、臨池亭、印月池、侵雪橋等落ち着いた景色を堪能しました。その後、楽しみにしていた昼食会場へ向かい軽く飲みながら楽しく会話も弾み大いに親睦が図られたと思います。

午後は東福寺方丈北庭、南庭に続き光明院を見学いたしました。ともに落ち着いた風情で心洗われ

たのではないかと思います。全行程を終え予定通り午後5時半きっかり帰着することができました。道中事故もなく皆無事で帰れたことは参加された会員各位のご協力のたまものと感謝しております。来年度も多数の会員の御参加よろしくお願い申し上げます。

(27期・環境)



## グラウンド・ゴルフとの出会いと活動

—緑区— 緑鯨城会

緑鯨城会副会長 山本 捷一

1982年4月鳥取県泊村が、文部省の生涯スポーツ活動推進事業指定町村に指定され、翌年8月泊村にグラウンド・ゴルフが誕生した。年々ゲートボールに変わり、全国に拡大していった。今や日本G・G協会に加盟する会員数は全国で192,323人（2014年3月現在）を有する会になった。（愛知県は鹿児島、埼玉に次いで全国第3位で11,856名が登録しております）

私はスポーツ推進委員に携わり10数年が経過しました。桶狭間小学校では、ゆとり教育として平成14年～平成22年迄4年生から6年生が授業で、地域とのふれあい学習が実施され私たちのG・Gクラブのメンバーと共に、グラウンド・ゴルフの普及と地域住民とのコミュニケーション創りとして学校で共にプレーをし、そのマナーとルールを教えてきました。

年齢・男女の差別なく、同じ土俵でハンディキャップも無く決められたコース（外周50M×2ホール・30M×2ホールと内周25M×2ホール・15M×2ホール）8ホールを2回ラウンドしその打数の少ない選手から優勝者を決め、表彰するという競技です。

子供たちがホールインワン（合計から3打引くことが出来る）を決めた時の目の輝き方は今でも忘れる事はありません。子供達の上達が早く、我々指導者のクラブにも力が入りスコアで負けることもしばしば有りましたが、楽しい時間でした。

卒業した子供たちも、年1回桶狭間学区の「ふれあいG・G大会（今回で20回）」に親子で参加してくる子も多く、そうした子供達は、町で出逢っても元気に挨拶をしてくれます。



今は地域での大会・愛知県大会・名古屋市大会・緑区大会等の運営に携わっています。多数の人達の協力と、大会へ多くの競技者参加を得て共にプレーをし、仲間づくりをしています。

（26期・地域）



# 会員参加事業（前期）を終えて

一名東区一 名東鯨友会

名東鯨友会会長 栗木 一

前号の「鯨城ニュース」（第26号・6月発行）に本年度の会員対象の事業について述べさせていただきましたが、今号では、その続編として、4月から8月末までの5か月間で、本会会員が参加、実施済みの下記3事業のPR、私の感想をも兼ね、ご紹介させていただきます。

## 1 学区懇談会

本懇談会は全会員対象の校区ごとの参加行事として、本会の主要事業であります。

この行事は毎年、区内の19小学校区単位（一部合区）で2回開催しており、先月末（8月末）までに既に17校区が第一回目を終え、残りの2校区についても今月中（9月中）に開催とのことで、これで前期（4～9月）全校区を終えることとなり、出席人員は171人（役員含む）。会員数のおよそ2人に1人の出席ということになります。

当日は飲食店でのランチをしながら、また学区のコミュニティーセンターでお菓子と飲み物で会場、実施内容は異なっても、会えば同じ地域（学区）と言うこともあり、顔なじみのメンバーも多く、開始前から話が弾みます。

各会員の自己紹介に始まり、出席者間での意見交換。その後、同席の私達執行部に対する質問、要望と続く。総会のあり方、各事業の見直し等いろいろな分野から問い詰められること？もあるが、両者でのやり取りは活発、建設的で、有意義なおよそ2時間でした。10月以降、もう1回、全学区で開催されますので、更に多くの会員の皆さんのご出席を期待しています。

## 2 研修旅行

本研修（年6回）は「会員との友好・親睦事業」として、毎回、バス1台満席の状況で、物見遊山に留まらず、教育施設をも見学・見物しています。行先は愛知県内・県外、名古屋市内と変化に富み、7月末日までに「東照宮」、「あいち臨空研究エリア」（常滑市）等3回実施し、およそ151人参加。11月まで、あと3回開催します。

もう一つの楽しみは「ランチ」。毎回豪華で、これがお目当ての会員もいるようです。

私も、参加会員とのバス内、昼食会場の至近距離でのお話も楽しみにしています。

## 3 一斉清掃活動

皆さんの区会では既に全会員対象とした清掃活動を始め、各種ボランティアを実施しておられると伺っていますが、本会は昨年度まで4つのボランティア同好会が会員登録制で定期的に清掃、福祉施設奉仕作業等を実施してきました。本年度からは、これは存続し、新たに年2回、全会員対象のボランティア（清掃）活動を始めました。

その第1回は本年5月30日（金）、区内を大きく4地域に分割し、地域内の公園清掃を、およそ80人の会員が参加し実施。終了後、地域ごとのランチ会、ティタイムが持たれ、他学区会員との親睦も図られ、好評でした。次回にも期待したいと思います。

後日、その模様は地元紙「名東ホームニュース」に写真入りで紹介されました。

（25期・生活A）



—天白区— 天白こじょう会

## いつも「楽しい」ボランティア・行事・学習

天白こじょう会会長 齊藤昌和

天白こじょう会は「楽しい」ことをキーワードにして活動しております。

私たちが心身共に楽しい人生を送るためには常に頭脳と体を動かし健康であることが必要です。そのためボランティア活動、行事や同好会に定期的に参加することで楽しい会話や体を動かすことにより、心身ともリフレッシュする機会が増え元気が出てまいります。

会員 262 名のうち 11 期から 27 期まで現在 98 名の方々が 5 ヶ所の公園の清掃、街路樹の保守、5 つの施設のお手伝いを定期的に行い、8 つの同好会やサークルでは会員相互の親睦を計っており、昨年も延べ 1189 人が地域活動で活躍されています。

行事では 5 月には東山動植物園の万葉の道で、ガイドの方より万葉の歌の解説を受け、6 月は中部電力、7 月は中日新聞の見学で電力や報道の仕組みを学ぶ事が出来、9 月は富士山のバスハイクや、リズム体操の計画もあり昨年の実績では延 239 人が参加し、楽しんでおられます。今年は学習会を開催するため更に参加人員が増加予定です。

今年は初めての試みとして「認知症」学習会を開催しましたが、会員の皆様の関心は高く 40 名の方が参加され認知症サポーターとられました。テレビ、新聞、雑誌で毎日のように取り上げられておりますので、その影響かと思えます。

学習パートⅡとして天白警察署の方による「オレオレ詐欺」の手口と対策のお話しも年末に計画いたしております。

28、29 期生の方々もご卒業後は天白こじょう会にぜひ入会され心身共にリフレッシュして楽しんでください。

(26 期・国際)



## 鯨城会会員数一覧表（26年度 期別・学科別階層分析表）

	生 A	生 B	文 A	文 B	園芸	陶芸	地域	健康	美術	環境	国際	福祉	合計
1期	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
2期	0	0	1	0	2	1	0	0	0	0	0	0	4
3期	3	0	0	0	1	4	0	0	0	0	0	0	8
4期	1	1	3	2	1	0	0	0	0	0	0	0	8
5期	3	0	1	1	4	3	0	0	0	0	0	0	12
6期	2	0	4	0	1	4	0	0	0	0	0	0	11
7期	5	1	1	1	2	2	0	0	0	0	0	0	12
8期	4	1	6	3	2	4	0	0	0	0	0	0	20
9期	4	1	1	4	1	2	0	0	0	0	0	0	13
10期	5	2	1	1	6	1	0	0	0	0	1	0	17
11期	4	4	12	2	5	3	5	9	3	0	0	0	47
12期	7	0	12	2	8	2	10	5	11	0	0	0	57
13期	11	7	5	3	6	3	4	6	4	0	0	0	49
14期	15	11	13	14	7	3	8	7	12	0	0	0	90
15期	13	9	13	3	6	2	9	9	8	0	0	0	72
16期	20	11	17	12	15	13	17	12	12	0	0	0	129
17期	16	14	24	8	21	11	18	13	15	17	11	19	187
18期	22	14	19	23	15	9	12	13	12	26	19	14	198
19期	23	10	21	13	23	11	25	13	8	19	21	18	205
20期	19	14	28	15	23	16	14	12	20	25	13	26	225
21期	19	20	22	20	28	12	26	31	17	30	13	23	261
22期	21	25	17	23	22	17	23	23	18	31	14	17	251
23期	25	26	17	20	26	18	20	19	15	21	15	18	240
24期	28	38	33	24	28	25	31	24	24	31	24	32	342
25期	26	30	32	30	31	25	38	33	22	34	24	32	357
26期	30	33	37	31	27	28	36	29	20	29	20	38	358
27期	31	33	31	33	31	23	33	33	20	36	28	32	364
合計	359	305	372	288	342	242	329	291	241	299	203	269	3540

### 平成 27 年度 鯨城会会長立候補届について

- 1) 立候補期間 平成 26 年 12 月 1 日（月）～平成 26 年 12 月 10 日（水）
- 2) 届 出 先 平成 26 年度鯨城会会長（総務委員長経由）
- 3) 立候補資格 被選挙人は、区役員経験者または本会幹事経験者のうち、立候補または区会もしくは幹事会による被推薦者とする。但し学園卒業後 5 年以内（就任時）の会員とする。
- 4) 届 出 書 式 下記の届出書をコピーしてご利用ください。

#### 鯨城会会長立候補届出書

平成 26 年 12 月 日

鯨 城 会 会 長 様

私は平成 27 年度鯨城会会長に立候補します。

立候補者	氏 名			
	卒業期・学科	期	学科	組



## “社会奉仕活動年間行事実施にあたって”

鯉城会社会奉仕活動委員長 原 清 隆

今年4月に、全く自信のないまま、分からないまま、この役を受け賜ってから半年経過しようとしていますが、もうそんなに月日が経ったのかというのが実感です。

社会奉仕活動委員は委員会の年間計画の行事を、無事に、楽しく、スムーズに行える様、仕度する、準備するのが役目であると心得ています。

これから本番を迎えます。9月10日～12日は「心の絆創膏キャンペーン」です。全区会で124名の参加です。市内の主要箇所で行います。＜自殺＞を予防しよう!!

鯉城会主催の「鶴舞公園クリーンキャンペーン」は10月4日、「堀川清掃大作戦」は11月1日です。只今（9月初め現在）参加者を区会長、委員長様と連携して募っています。

学生会様がクリーンキャンペーンに意欲的に対応され、「鶴舞公園」には310名もの参加の申し出が有りました。例年の2倍以上です。鯉城会と学生会とが一体となってパワーを発揮し、盛り上げようではないかと申されておられます。

そのほか11月には「図書室ボランティア」の新規募集の説明会を予定しています。来年3月予定のマラソンフェスティバル なごや・愛知2015の「団体ボランティア」の募集受付が始まりました、各区会に対応してください。~~来年3月には「東日本大震災被災者支援共同募金」、2回目の「心の絆創膏キャンペーン」等を予定しています。~~

各区会様より提出いただきました「平成25年度上半期、下半期のボランティア活動実績状況報告」を、同一様式でまとめました。区会長、委員長様を通じてお届けします。区会ボランティア活動委員長様は平成26年上半期（4月～9月）の報告を10月末日限で提出願います。

本部役員はじめ、委員、各区会長、委員長様との協力、連携がどんなに大切かを痛感しています。来年3月に任期を終えた時、8割方は遣れたのではないかと自己評価出来ることを心密かに願っています。

(24期・環境)



# 第30回公開講演会を振りかえって

鯨城会行事委員長 楠 元 和 博

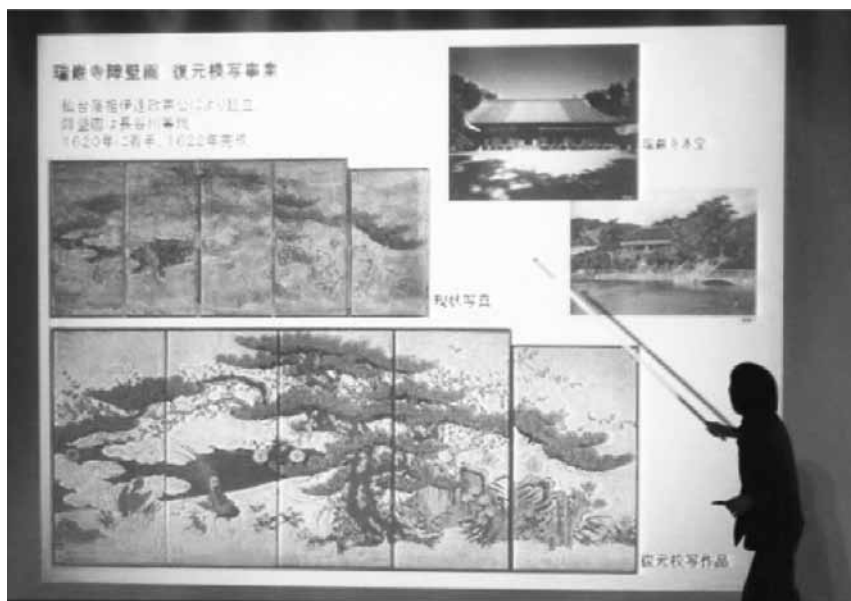
当日の朝、はっきりしない空模様だが、幸いなことに、雨が降るまでにいたる気配はなさそう。開演の時間が近づくにつれ、客席もそれなりに埋まって来た。

加藤先生とはお友達の河合会長による先生の紹介の後、  
いよいよ、加藤先生の講演の始まり、  
当日の聴衆者は、先生のお話に関心の深い方々が多いようで、皆が先生に注目した、そのシーンと静まりかえった会場の中で、この道

何10年の加藤先生の情熱に満ちた復元模写のお話が始まりました。

その内容は、まず、復元模写が目指すものはなにか?について。

更に先生が手掛けてこられた、障壁画の復元模写の例を具体的に映像で示しながら瑞巖寺の例から、名古屋城本丸御殿迄の数々の障壁画につき、更には、この講演で初めて見る障壁画の映像も加え、それらが描かれ時の歴



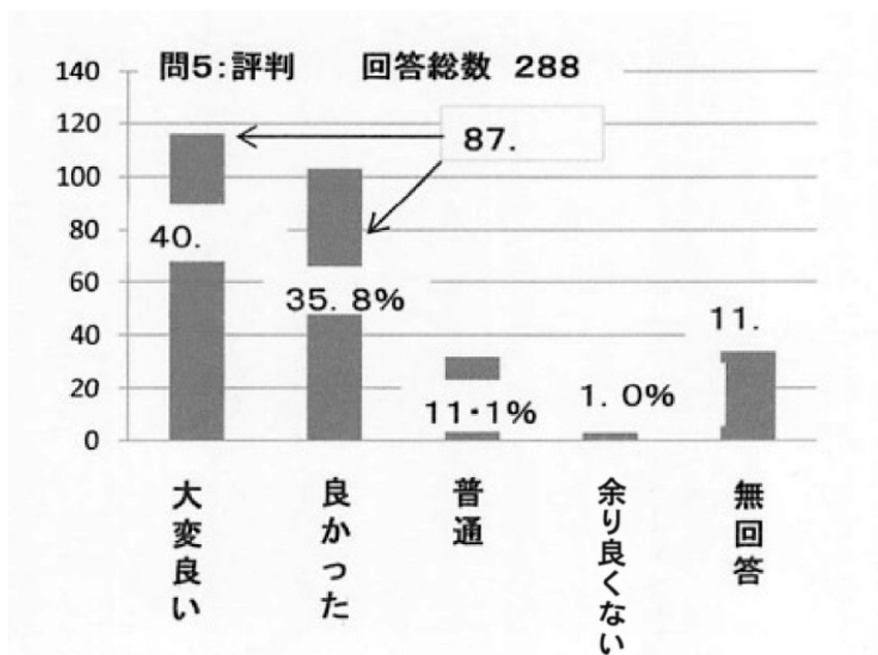
史的背景や見所等が熱く語られました。

特に、印象に残ったお話は、我々が本丸御殿を見学する時に、その、障壁画を楽しむ方法はそのものに「成り切る」ことです。即ち“藩主や春姫になった気持ちで本丸御殿の障壁画を鑑賞し楽しむ”が先生のアドバイスです。

是非、本丸御殿が完成した時には、改めて見学し藩主に成りきったつもりで、改めて鑑賞したいものと今から、完成の時期が楽しみです。

最後に先生のご講演は大変好評でアンケート調査結果にも次のように数値ででていいますのでグラフを掲載しておきます。

(25期・美術)





# 平成 26 年度区会活動委員会活動計画について

鯨城会区会活動委員長 加藤 純子

## 1 活動方針

「鯨城会グラウンド・ゴルフ交歓会」の年2回の開催継続と、来春卒業する28期生、および今年度に入学された29期生がこぞって卒業後は鯨城会及び各区会に入会し、我々鯨城学園卒業生に期待される地域活動への大きな力が得られるよう、各区会と連携して在校生への働きかけを促進したいと考えています。

## 2 活動計画

### (1) 鯨城会グラウンド・ゴルフ交歓会

参加者は年々増えてきていますが、今年度も下記日程での開催を計画しています。

- 第12回大会 9月29日(月)
- 第13回大会 平成27年3月23日(月) 会場は、何れも鶴舞公園陸上競技場

### (2) 区会活動説明会

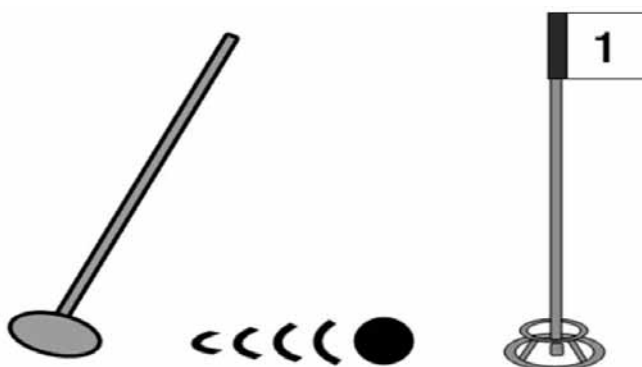
- 29期生対象
- 期日 平成26年4月30日(水)

鯨城学園5階ホールにて第1回「地域ミーティング」を開催します。

- 29期生対象
- 期日 平成27年1月16日(金)

なお、昨年度から学年ごとに開催される「地域ミーティング」を通じて、各区会と在校生間の交流の場が設けられたのを契機として、区会活動説明会の進め方についても検討を加えたいと考えます。

(24期・文化A)



## 表紙説明

### 八劔神社例大祭（やつるぎじんじゃれいたいさい）

八劔神社（守山区大森）は、平安遷都の前年793年にこの地方の豪族山田連によって創設され、これまで2回遷座を繰り返しましたが、大森の人たちが、古代から守り、受け継いできた由緒ある神社です。

毎年10月19日に近い日曜日に例大祭として祭りの行事が行われます。この日は八劔神社の祭事に合わせて、神様に、子供獅子、神楽の巫女の舞、棒の手の奉納と火縄銃の発砲があり、最後に厄年の男性（年男）らによる餅なげを行い、祭りは終わります。

表紙の写真は火縄銃を発砲した瞬間です。

撮影文 鈴木 克美（21期・陶芸）

### 【お詫び】

鯨城ニュース26号2頁 クラブ活動案内に社交ダンスクラブの記載漏れがありました。  
お詫びいたします。

## 訃報

平成26年4月1日～平成26年9月30日現在

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。（敬称略）

靖 栄馬 晴人（26・地域）	26. 4. 1	三宅 良長（11・陶芸）	26. 7. 13
木村 勝彦（22・地域）	26. 6. 10	近藤 孝彦（25・園芸）	26. 8. 24
江口 博子（1・文化）	26. 6. 16	中村美都也（26・健康）	26. 9. 14

## 編集後記

精神科医でもある、作家でもある、斉藤茂大さんは、いい人生の生き方のコツとして、人生は楽観主義で暮らさない、と説いています。健康で明るく暮らす人の特徴は ①なんらかの仕事を持ち、社会や人の役に立っていると言うプライドを持っている。②男、女、年齢を問わずたくさんの人とつき合っている。③安らぎ、気晴らしをもたらし趣味をもって楽しんでいる。④好奇心が旺盛。⑤「どうにかなるさ」「これくらいでいいさ」というおおらかな精神の持ち主である。⑥自分の足でよく歩く。⑦オシャレである。あなたははいかがでしょうか。高年大学に入学する平均年齢は68歳、鯨城会員の構成年齢は70歳以上が8割、無理が出来ない年齢の集団です。卒業後約10年間が体力、気力を失わず活動できる限界ではないでしょうか。ゆっくりあせらず無理をせず、人生を楽しみながら、世のため、人のため、自分のために身の丈に合った活動が続けられたらいいと願っております。鯨城ニュース27号を発行するにあたり、ご協力頂きました皆様に感謝し心より厚く御礼申し上げます。（猪飼 記）

広報委員：猪飼甫・中村さよ子・中西三千人・稲生雅子・橘田正紀・尾畑孝  
ホームページ担当：池田正子

予告で～す

時間と出演順はまだ未定です

区会員

第5回

# 鯉城OB文化祭

鯉城OB文化祭は、卒業生の鯉城会会員が、  
日頃の練習成果を皆様にご披露する場です。  
多くの方々のご来場を、お待ちしております!!

## 参加クラブ

- 鯉城民謡クラブ同好会
- 手話ダンス・四季の会
- 詩吟同好会「オレンジ」
- ぜに太鼓同好会
- 鯉城手話サークル「白ゆり会」
- 名古屋甚句同好会・甚鯉会
- 高年大学太極拳同好会
- こじょうオカリナクラブ
- こじょう混声合唱団
- 白川ハーモニック・クラブ
- 日本のうたトゥエンティフォー
- 詩吟同好会・むらさき

以上12チームが出場します。ご期待下さい。

- 日時 平成27年3月12日(木)
- 開場 11:00
- 開演 11:40～16:00
- 場所 伏見ライフプラザ5階 鯉城ホール  
(中消防署、階上)

◀◀ 入場料無料。多数ご来場下さい。▶▶

**2014 ユネスコ世界会議 併設イベントに鯨城会出展**

**“ともに生きる未来のために”**

日時:2014年11月8日(土)・9日(日)

場所:久屋大通公園 もちの木広場

問い合わせ先:名古屋市高年大学 鯨城会

052-222-7521

**第31回 公開講演会 アマチンと山田昌さんのトークショー**

**出合いふれ合い 人間コンサート**

『いっしょで別々』



**天野鎮雄 氏** プロフィール

名古屋市港区出身。  
菊里高校、愛知学芸大学に入学。  
NHK名古屋放送劇団を振り出しに、文学座研究生大嶋渚氏主宰の「創造社」「山本安英の会」等を経て現在ラジオ・テレビ・舞台で活躍中。“アマチンの”愛称で親しまれている。



**山田 昌 氏** プロフィール

1930年愛知県常滑市生まれ、49年NHK名古屋放送劇団入団。81年NHK銀河テレビ小説出演。以来、名古屋を拠点に全国的にテレビ、映画、舞台上で活躍、名古屋弁女優のイメージで全国に知られる。代表作に映画「黒い雨」、テレビ「名古屋嫁入り物語」シリーズ、舞台「越前竹人形」等。

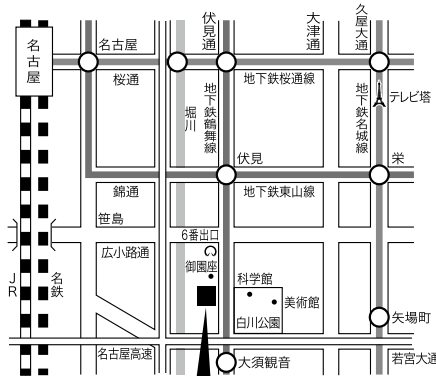
1985年に妻の山田昌と「劇座」を結成、合わせて付属俳優養成所「名古屋劇座」も設立。

● 日時 **平成26年12月4日(木)**

● 開場 **12:30**

● 開演 **13:30 ~ 15:00**

● 場所 **伏見ライフプラザ5階 鯨城ホール  
(中消防署、階上)**



**伏見ライフプラザ**

入場料無料。多数お誘い御来場下さい。要約筆記・手話通訳も準備。

主催 ◆ **名古屋市高年大学 鯨城会**

お問い合わせ先 ◆ ☎052-222-7521